

作成日：2020年11月19日

【10カウントとメーカー毎のHbA1cの関連についての研究】に対するご協力をお願い

1. 対象となる方

西暦2020年3月1日より2020年10月31日までに関西電力病院15階、糖尿病内科で教育入院をされ、インスリンを使用していた方です。

2. 本研究の目的、意義、方法

1)目的

インスリン注射において、薬液が適切に注入されるためには、注入後、ボタンを押しきってから一定時間待つことが必要とされています。当病棟では、インスリンを使用している全ての患者様に対して、注入後、10数えて保持することを指導しています。

しかし、推奨されている必要秒数はメーカーごとに異なっています。10秒数えていただく、現在の指導内容でHbA1cに差異がないか、また退院後の推移を明らかにします。

2)意義

手技指導の根拠が明らかになり、今までよりもさらに患者様にあわせた指導を行うことができると考えています。

3)方法

入院中のカルテ情報をもとに、使用していたインスリンやHbA1cの検査データを抽出します。データはパワーポイントにまとめ、関西電力病院の院内発表で発表すると共に院外学会などで発表する可能性があります。

4. 個人情報について

発表にあたり、患者様のプライバシーを保護し、個人情報が特定されないように十分配慮します。氏名は一切記載しません。個別データは使用せず、分析した結果のみを使用します。年齢・性別の記載が必要な場合は、〇〇歳代、男性・女性と記載します。日付は、20〇〇年と大まかな記載やX月Y日と符号を用いて表示します。

6. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。またお申し出があった場合は、その方のデータは研究に使用しませんので、下記へご連絡ください。

お問い合わせ先：

大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 15階病棟

研究代表者名：西村 紗穂 研究責任者名：当田かおり

電話：06-6458-5821（内線：3720 または 3722）